

◆日本小児科学会主催 ◆名古屋市立大学児童虐待防止委員会共催

子ども虐待診療研修セミナー

～子ども虐待診療の基本(臓器移植時の対応も含めて)～

日時 平成24年2月12日(日) 9時25分～16時

場所 名古屋市立大学病院大ホール(病棟・中央診療棟3階)

名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」駅下車(3番出口)

<http://w3hosp.med.nagoya-cu.ac.jp/about/access/index.html>

プログラム

09:25 開会のことば 長 和彦(日本小児科学会理事)

午前(09:30～12:00) 司会:柳川敏彦(和歌山県立医科大学)

09:30～10:30

小児科医が知っておくべき対応に関する制度 松田博雄(淑徳大学)

子ども虐待に対するわが国における対応制度(法律や制度など)について、小児科医の役割も含めわかりやすく解説します。

10:30～11:30

被虐待児の診察 市川光太郎(北九州市立八幡病院小児救急センター)

虐待を疑うべき所見、虐待を疑ったときに確認すべき所見や行うべき検査など、虐待診療の実際について具体的に解説します。

11:30～12:00 トピック1

虐待が子どもの脳に与える影響 友田明美(福井大学)

被虐待体験が子どもの脳の発達に与える影響について、根拠を示しながらわかりやすく解説します。

12:00～13:00 昼休み

午後(13:00～15:00) 司会:齋藤伸治(名古屋市立大学児童虐待防止委員会)

13:00～14:00

小児科診療の場における対応 井上登生(井上小児科医院、福岡大学小児科)

虐待が疑われたときに医師に期待される対応について、通告方法や保護者への接し方など、実践的に解説します。虐待に発展しそうな事例への予防的関わりについても触れます。

14:00～15:00 トピック2

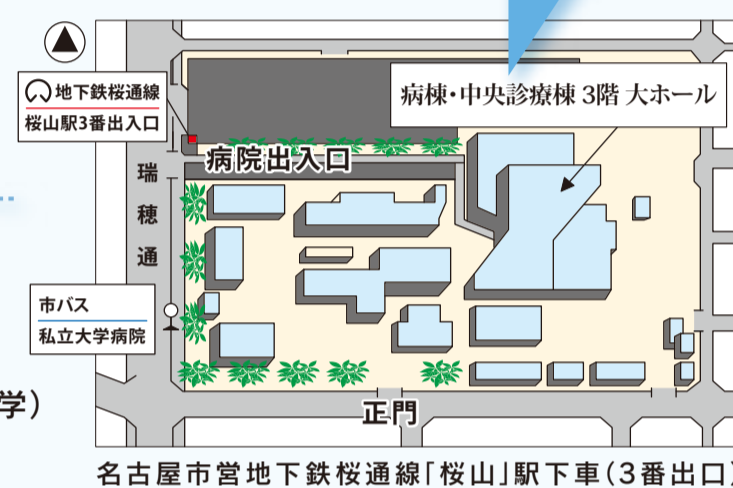
脳死下臓器提供者から被虐待児を除外するマニュアル 山田不二子(日本子ども虐待医学研究会)

臓器移植が検討される状況における被虐待児除外の問題について、判断手順の基本や今後の課題などについて具体的に解説します。

15:00～15:15 休憩

15:15～16:00 総合討論 司会:宮本信也(筑波大学)

16:00 閉会のことば 齋藤伸治(名古屋市立大学)



参加費無料

(事前登録等不要・定員先着350名)

お問い合わせ:日本小児科学会 03-3818-0091